



平成20年3月20日
 飯田 次所
 田 出 張
 賀 用 所
 TEL. 3700-3657

新しい世帯清掃工場

新井 幸子 柳田一弥
 私たちのまち上野賀は、昔玉川用賀町三丁目と呼ばれた地域で、周囲は畑と植木畑が多く、庭公園に隣接しております。

今から約四十年ほど前、昭和四十四年三月、新公園隣に世田谷清掃工場が竣工。地域の方々へのお湯利用が目玉でしたが、お湯利用は短い文句の一つに過ぎませんでした。

時の流れは速いもの、焼却場も三十年余り稼働した平成十二年一月、ダイオキシン排出規制の法律も強化され、平成十四年三月で休止しました。

新清掃工場は、摂氏千二百度以上の高温焼却で、ダイオキシンは殆んど発生しないとのこと。今年四月以降本稼働予定です。十分安全確認を願うものです。

世田谷区でも、清掃工場西側に、ガラスビン資源化施設を昨年八月より工事着手致しました。

(上野賀町会副会長)

用賀の町と商店街のかかわり

用賀商店街 理事長 小林弘忠
 用賀町として栄えた用賀の歴史と伝統を守ろうという構想が、今スタートしました。大山参りをテーマにしたイベントや、歴史の伝承を通じて、用賀が皆様により愛される町になるよう、商店街ではこのプロジェクトを応援しています。

又お客様である居住者により安全に安心して楽しく日々を送ることができるよう、に街路灯の維持管理、AEDや防犯カメラの設置を計画しています。

地域の情報や文化のコミニティーの発信基地を目指し、皆様の暮らしを応援し続けてまいります。

新井 幸子

移り変わる世帯の顔

農地の移り変わり

新井 幸子 吉岡光幸
 早いもので平成も二十年であります。区内における農地も随分と減少を続けています。とはいえ世田谷は特別区中、農地に次いで二番目に農地の多い区でもあります。街の中を少し歩くと、農地を見かける事ができます。

農地も野菜、花などを生産する場所というだけでなく、貴重な緑の空間として野菜、果実の収穫体験、身近に自然とふれあい、四季の移ろいを肌で感じる場所にもなっています。

今や農地は多面的機能を持った、農産物の供給基地として移り変わって来ているのではないのでしょうか。

(瀬田町会副会長)

谷沢川の護岸改修

関 千恵 鈴木典二
 今回紹介する護岸工事は世田谷区谷沢川、谷沢川の間、谷沢川護岸壁改修工事についての話です。

この区間には、老木の桜の木が二十本程植樹されており、工事施工に際しては樹木の移植、伐採不可の条件付きで、工事施工に当たり樹木の根元部分を、育成に支障なき様施工されております。即ち、流水は樹木部分を蛇行状とし、これがアクセントとなり、柔らかな水路となりました。

今年の谷沢川のお花見は桜花だけではなく、水の流れるも併せて見物して下さい。

新井 幸子

三子玉川再開発中間報告

新井 幸子 池田良夫
 三子玉川東地区再開発もや、と昨19年12月に着工の時を迎えました。

計画当初のイメージ図が徐々に固まり具体的な建築の設計図が地域の人に説明されたので中間報告をします。各エリアはI、IIに区分され、前期として駅舎を中心としたIA街区とIB街区に8階建の商業施設が出来ます。次に上野毛寄りのII街区に42階建の住宅タワーを中心としたA棟からE棟までの居住エリアが出現します。

又、隣接の東急自動車学校の跡地は公園化されます。II街区のビジネス棟については、後期となる模様。

新井 幸子

木洩れ日

飯田恭次
 平成時代も二十年目、言葉通り昭和は遠くなり、けりてです。又、今年は極東国際軍事裁判(東京裁判)で、A級戦犯の七人が処刑されて丁度六十年、秋口にはこの裁判の歴史的評価がマスコミ紙上を賑わすと思われます。

その主役、太平洋戦争開戦時の東條英機首相の私邸が用賀にあった事を憶えている人も少なくなりました。昭和十六年十月、日米の外交交渉が難航する中で、内閣の首班に指名された東條総理大臣は、相閣二ヶ月後十二月八日、対米英開戦に踏み切ります。

結戦の勝利に東條内閣は国民の高い支持率を保ったものの、昭和十八年以後、戦局が厳しさを増し、昭和十九年七月総辞職、東條元首相は用賀の私邸での生活が多くなります。時折、近くを散策していたとの事です。昭和二十年八月十五日長かった戦争は終りました。

九月十一日、東條元首相は私邸にて自決を図りますが未遂、翌、昭和二十一年五月、市ヶ谷の東京裁判法廷で被告席に着きます。

裁判は、その後二年半続き昭和二十三年十一月結審、東條元首相他六人の被告は、一ヶ月後の十二月二十三日未明、静かに十三段の階段を昇って行きました。

新井 幸子

郷土紹介

時代とともに 変わるまち「用賀地区」

三子玉川 会長 池田良夫
郷土会

私たちが日頃見慣れている街も刻々とその表情を変えていく。散歩がてら街を見ると「あれ、ここは以前何だったろうし」など興味津々である。地域の今の風景から昔の顔を辿ってみる。

用賀・瀬田・玉川と順を追って紹介する。

用賀一丁目の高台、立正佼成会は東條英機師の跡で隣接地には中村錦之助も住んでいた。同地には宇佐八幡もあったが、用賀神社に合祀されている。

戸板寄園の所は、元々ぶらさの畑地であったが本願商店がミニマル市場を開設

用賀地区 社会福祉協議会の設立

五台二番 鈴木堅之

杜協は、地域内の福祉の増進をすすめる為、思いやりの心をもって知り合い

ふれあい 支えあう

心豊かなまちづくりを目指して活動しております。



これまで玉川杜協が一体となって行動して来ましたが時代の移り変わりと共に生活環境が微妙に変化して来ている現在、それぞれ地域に密着した、最も適した活動が望ましいという観点から、各出張所毎の地区杜協の設立を準備して参りました。

用賀地区も、先日、設立総会を開催。

して、後に三井のや越農園、第一園芸と次々と顔を変えていく。コジヤシヤの周辺には昭和インキの工場があり、広瀬生糸工場などの前歴もある。

SBSビルのタワーは、玉電の大橋庫庫の移転先として電車の機材置場だった。

東京最大は渋谷から陸軍機甲整備学校跡地に移転して来た。上用賀には農大の用賀実習農園もあったが、現在は神奈川県厚木市に引越した。その跡地は公務員宿舎やマンション群になった。

関東中央病院は都立一商のグラウンドが前身である。ファミリアパークは、東急砦ゴルフ場跡で、今でもコースの面影が残っている。



つづく

来る四月一日より「用賀地区社会福祉協議会」としてスタートする事になりました。

①高齢者のバス旅行
②青少年ふれあいテリ
③地域活動団体との交流やネットワーク作り

などから徐々に活動範囲を広げていきたいと思います。

それには、地域住民皆様の協力が必要です。各町会、民生児童委員、日赤、あんしんすこやかセンター、区民センター等の皆様と共に初期の目的を達成したいと願っています。

皆様からも資金面或いは支え合いの心で、ご協力をお願いいたします。

(用賀地区社会福祉協議会会長)

優文堂さん

三子玉川 高橋佳一

昨年十月「ひろば」初代編集長鈴木武一氏が亡くなりました。

私が故人と関りをもつようになったのは、昭和四九年、父の代りに用賀町会の役員会に出席した頃からです。

その時故人は副会長をされておりました。役員会にはいつも必ずネクタイを締めていました。私たち役員仲間が故人を話題にする時は、「鈴木さん」とは言わず「武一さん」とは言わず「優文堂さん」と呼んでおりました。

私たちより上の世代では「タケさん」と通っていたようです。

昭和五八年発行の「ひろ

初代編集長

は「創刊号」を読んでみました。そこには似顔絵と編集に懸ける意気込みが鈴木節で綴られておりました。故人についてはその話題の豊富さ、知識の奥深さにいつも圧倒されておりました。

印象に残るのは、真福寺先々代住職内藤隆敏氏と二人で戦後間もない頃、GHQに掛け合い、日本で最初にPTAをつくったと自慢しておられたことです。

用賀の町の生き字引のようの方がまた一人いなくなってしまう。大変残念ではございますがこれも一つの時代の移り変わりと思っております。ご冥福をお祈り致します。



スポーツ

用賀出張所の建替え

用賀出張所区では、公共施設の計画的な整備の一環として、老朽化の進んでいる用賀保育園・用賀出張所の施設の建替えが決まりました。

災害に強い、誰もが利用しやすい施設を目指して計画して参ります。

一月十七日には、住民説明会が開催されました。今後定期的に住民説明会を開催し、計画の説明をしながら進めてまいります。

移転先
現用賀放置自転車保管所
(用賀2丁目29番22号)
移転予定
平成22年9月



去年の秋バスリと校庭とを合わせた遊歩道の標も井吹き始め、春の訪れを告げています。

この遊歩道はかつて玉電が走っていた所。思えばあれから何年たったでしょう。まさに、昭和は遠くなりけりを実感します。

街の風景の移ろいと共に世の中も目まぐるしく変わり続けています。

昨年の「偽装表示」に続き年が明けると「冷凍ギョウザ」騒ぎです。

十二支の始まりである子年の今年こそは、これ以上の騒動が起る事なく、どうや穏やかで明るい一年であってほしいと願わずにはいられません。

(飛野)